

令和2年度一休さん（学童クラス）保護者アンケート集計結果（回答数 29）回収率 70% 令和2年12月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見の内容とそれに対するお返事
環境・ 体制整備	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思われますか？	20	8	1	①「成長していくにつれ少し狭く感じます」「屋内は問題ないが屋外にも活動エリアがほしい」 ②「以前まで新しい職員の方の名前や顔が分からない事がありました、一休さんスタッフの配布（用紙）があり、分かりやすい」 ③「本人がとてもリラックスできているようです」「子どもの様子をよくみてくれています」「コロナの関連もあり、最近は見れていないので分からないというのがあります」 → 昨年より、どんぐりルームとプレイルームの間にある『くすの木寮』の一室を、学童クラスのスペースとして使用しています。静かに宿題に取り組む場所として、体調不良時の静養室として等、多目的に使用しています。屋外については、限られたスペースの園庭ではありますが、外遊びを希望する子どもが増えている為、可能な限り環境を整えていく予定です。
	②職員の配置数や専門性は適切であると思われますか？	28	1	0	
	③生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか？また子ども達の活動にあわせた空間となっていますか？	28	1	0	
適切な 支援の 提供	④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で「個別支援計画書」が作成されていると思われますか？	29	0	0	④「成長に応じてよく考えて頂いていると思います」「いつも子どもとしっかり接して頂いていて、今の本人の課題が作成されていると思います」「子どものことを良く考えて作成して頂き有難いです」 ⑤「コロナの大変な中でも固定化しない様、工夫されていると思います」「利用曜日が固定であり、活動内容も曜日で決まっていないか？」「活動内容がいつも違い、工夫されている」「畑の作業がとても良い体験になっています」「室内、畑、いろんな活動有難うございます」 →昨年3月からの突然のコロナによる休校で子ども達は室内中心での活動を余儀なくされましたが、職員にとっては、子ども達と長い期間、しっかり関わる事が出来た為、一人一人に合わせたあそびの工夫や、集団でのゲーム・レクリエーション等の実践を積み重ねていくことが出来ました。現在も日々、活動内容を充実させるため、職員が試行錯誤を繰り返しながら計画を行っております。畑での農作業体験も3年目となり、子ども達の中にも「畑へ行く」ことが定着してきました。
	⑤活動プログラムが固定化しない様、工夫されていると思われますか？	27	2	0	
	⑥放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会や、地域の方々と交流する機会がありますか？	7	16	6	⑥「今はコロナのことがあるので難しいと思います」「交流の目的・ねらい・効果について補足してほしい」「色々な方々と接する機会も大事だとは思いますが、子ども達それぞれのペースがあるので積極的にしてほしいとも思わない」 →障害児への支援の基本的事項や職員の専門性の確保等を定めた『放課後等デイサービスガイドライン』の中に、「障害のある子どもができるだけ地域や他の子どもから切り離されないよう、地域の放課後児童クラブや児童館との交流や他の子どもとの活動を企画することが望ましい」と明記されています。一休さんでも、以前からの継続課題となっていました、コロナの感染拡大でますます難しくなっていました。今後も地域の感染状況を見極めながら、保育・福祉分野の大学生の実習受け入れについては可能な限り継続し、農作業を通じて地域の方々との交流を広げていきたいと考えております。

保護者への説明等	⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていると思われますか？	26	3	0	⑦「子どもに必要な支援を考えて頂いています」
	⑧日頃から子どもの状況を保護者の方と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていると思われますか？	29	0	0	⑧「親の話もよく聞いてくれて有難いです」「日頃から子どもの様子をよく見てくれて色々とアドバイスなども頂いています」「いつも沢山の相談にのって頂き有難うございます」
	⑨保護者に対して面談や、子育てに関わる助言等の支援が行なわれていると思われますか？	27	2	0	⑨「担当者会議等で支援内容などは共有できていると思います」「気になることなど相談すると話を聞いてくださり、対応してくれている」「アドバイスを頂いています」
	⑩保護者同士が話し合える機会を作る等、保護者同士の連携が支援されていると思われますか？	13	13	3	⑩「今年はコロナの為、お茶会もなかったので残念です」「今年度はコロナの流行にて難しかった」「コロナの為、機会がなくなってしまいましたが、以前は定期的に行われていて良かったです」 →コロナが落ち着き次第、保護者のお茶会は再開予定です。グループホーム・就労支援事業所等の見学会や講師をお招きしての講演会等、企画していきたいと思います。
	⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備しているとともに、子どもや保護者に周知・徹底し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していると思われますか？	26	3	0	⑪「特に苦情などはないです」 ⑫「とてもよく対応して頂いていると思います」 →問題が発生した時の迅速な対応はもちろんですが、子ども本人や保護者の方が、ほんの些細な事でも疑問や不安を感じた際に、すぐに職員に話をすることのできる関係性を常日頃から構築していくことの重要性を痛感しております。また問題の大小に関わらず、その問題が起こった原因を分析し、再発を防止してより良い支援に繋がっていくための方策を検討し、職員間で共通認識を持って支援を行うというプロセスが何よりも大切であると考えています。今後も忌憚のない保護者の方々の声を聞かさせていただくと大変有難いです。
	⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされていると思われますか？	29	0	0	⑬「コロナで大変な状況でも子どもの為によく考えて頂いていると思います」「一休さん新聞を毎月家族で楽しみに読んでいます」「毎月沢山の写真入りで活動の様子が分かり楽しみです」「一休さん新聞でよく伝わります。いつも楽しみです」
	⑬定期的に広報誌等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信していると思われますか？	29	0	0	
⑭個人情報に十分注意していると思われますか？	28	1	0		
非常時等の対応	⑮ノロウイルスやインフルエンザ等の感染症予防・拡大防止について、日頃より保護者に対し、周知・説明がされ、きちんとした対応がなされていると思われますか？	28	1	0	⑮「きちんと対応されていると思います」「コロナの影響による突然の長期の休校やその後の分散登校など、全てに対応して下さいました。音楽療法やダンス教室、夏には園庭で水遊びを楽しんだり、農園では季節ごとに野菜の一連の収穫体験等を通して例年と変わらず身も心ものびのびと過ごさせてもらうことが出来ました」「プリントを頂いています」
	⑯地震や火災等の非常災害時の避難方法や保護者との連絡方法について日頃より保護者に対し、周知・説明がされていると思われますか？	28	1	0	⑯⑰「有事の際、どのように避難するのかはよく分かっていない。訓練の内容について周知できていない。(避難経路や避難場所等)」「訓練が行われているかどうかは把握できていません」 →学童クラスについては、『火災および地震発生時』『水害時』を想定した避難訓練をそれぞれ年1回以上実施しています。長期休暇時と土曜日に計画し、実施していますが、回数としては十分ではない為、令和3年度につきましては、3ヶ月に1回程度を目安に計画・実施していきたいと考えております。また、避難経路・避難場所につきましては、毎年年度初めに配布させて頂いております『一休さん地震災害・洪水等の水害時の避難場所について』にてお伝えしておりますが、一次避難場所について変更を検討しておりますので、改めて詳しい内容を4月中にお知らせいたします。また、訓練の具体的な内容につきましても、今後は広報誌等でお伝えしていきたいと思
	⑰非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると思われますか？	25	4	0	

満足度	⑩子どもは通所を楽しみにしていると思われませんか？	27	2	0	⑩「とても楽しみにしています」「毎週利用日を楽しみにしている」
	⑪事業所の支援に満足しておられますか？	29	0	0	⑪「高校まで利用出来る様になって大変うれしいです。希望としては、卒業後、将来的にその後の施設など出来たら有難いです」「デイが18歳までになり感謝です。次は就労をぜひ」「親・子の支援いつもありがとうございます」「土曜日や長期休暇時の送迎時感がもう少し遅くなってくれたら助かります」「農園の野菜がスーパーで買うものより美味しく立派で、土壌が良いのか先生方の手入れに秘密があるのか最近とても気になっています」 →貴重なご意見を有難うございます。来年度より高校生の利用がスタートします。将来を見据えた活動内容や支援を行っていきたいと思います。これからも忌憚の無いご意見・アドバイスをお願い致します。

お忙しい中、アンケートにご協力頂き、本当に有難うございました。保護者の皆様から頂いた貴重なご意見につきましては、職員会議にて全職員で共有し、来年度の活動内容等の見直し・更なる充実につなげてまいります。